

[特集]百日咳

その咳、長く続いていませんか？

百日咳

にご注意を！

もう何週間も咳が出続けている…もしかしてこれって、今はやりの百日咳??

ここ最近、全国的に百日咳の感染者数が増加しています。百日咳は、子どもだけでなく大人や高齢者もかかる呼吸器の感染症で、特に高齢の方が発症すると重症化のリスクが高く注意が必要です。ご自身の健康を守るために、ぜひこの機会に正しい知識を身につけておきましょう。



診断と治療

予防方法



・培養検査・核酸検査

鼻や喉から綿棒を入れて、ぬぐい

液で細菌の検出を行う

・胸部レントゲン

肺炎などの合併症確認

など

・血液検査

血液を採取し抗体価を調べる

・百日咳ワクチン

肺炎などの合併症確認

など

・抗生物質の継続服用

抗生物質を服用して菌を死滅さ

せる

・十分な休養と水分補給

水分をしっかりと補給し、十分な休養と栄

養を摂る

・手洗い・うがい

風邪予防と同様に、毎日の手洗い・うがい

を徹底しましょう。

・咳止め薬

咳止め薬を服用して

止める

・発熱対策

発熱がある場合は、

体温計

・退院後も定期的

に定期的に外来受診

する

・回復期

感染から4週間以降～数ヶ月

徐々に徐々に咳発作が少なくな

り、咳が落ち着いていきます。

高齢者・新生児・乳児は重症化しやすいのでご注意を！



大人では、熱もなく咳をしているだけの人も多いです。しかし、高齢者が罹患すると、体力の消耗や肺炎のリスクが高まり、重症化することもあります。また、新生児・乳児もかかると重症化しやすいです。哺乳不良・肺炎・脳症などを起こすことがあります。五種混合ワクチンを接種完了していない赤ちゃんにうつさないよう、十分に気をつけてください。

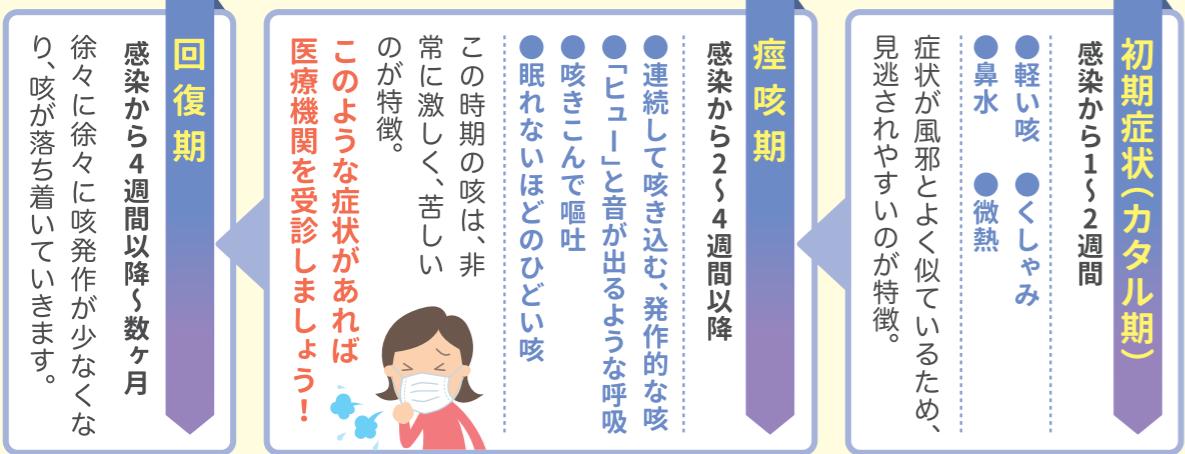
百日咳は、「百日続く咳」と言われるほど、長く続く咳が特徴の感染症です。正式には「細菌による呼吸器の病気」で、飛沫感染・接触感染で周囲にうつりますが、「非常にうつりやすい」ことも特徴です。1人の患者が平均10人以上にうつすと言われています。

ゴホ! ゴホ!



百日咳とは

主な症状と経過



高齢者・新生児・乳児は重症化しやすいのでご注意を！



・咳止め薬

咳止め薬を服用して

止める

・発熱対策

発熱がある場合は、

体温計

・退院後も定期的

に定期的に外来受診

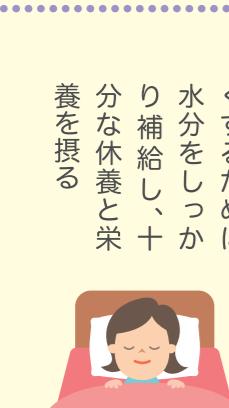
する

・回復期

感染から4週間以降～数ヶ月

徐々に徐々に咳発作が少なくな

り、咳が落ち着いていきます。



「ただの風邪」と思っていたら百日咳だった、というケースも珍しくありません。2週間以上咳が続くときは、必ず医師に相談しましょう。

(監修:小児科 山下 信子)